

人工呼吸管理中の日中の鎮静レベルと ICU 退室時の歩行獲得との関連に関する研究

■ 研究の対象となる方

2018年7月～2022年1月に当院集中治療室（ICU）に入室し48時間以上挿管人工呼吸管理を受けられた方

■ 目的・方法

ICUで人工呼吸管理を受ける方は、ベッド上での安静時間が長くなることで、筋力低下などの身体機能が低下しやすいことが知られています。そのため、ICUから出る際や病院を退院する際に歩くことが困難になる場合があります。その対策として、できるだけ早くから体を起こして、不必要な安静時間をできるだけ減らすことが重要と考えられています。

この研究では、ICU入室から当院退院時までの患者さんの診療記録を調査し、ICU退室時に歩行が可能であった患者さんの要因を調査します。特に、鎮静の深さとの関連を検証することを目的としています。

研究では診療の中で得られた情報を使用します。この研究のために新たな検査や調査をお願いすることはありません。収集した情報は個人情報を削除し、当院で厳重に保管致します。また、収集した情報を整理し、解析・検証を行います。

■ 実施期間

2022年3月7日～2022年5月31日

■ 研究に使用する情報

年齢、性別、ICU在室日数、在院日数、重症度スコア（SOFA score）、人工呼吸器装着期間、ICU入室中の鎮静レベル、手術の有無、ICU退室時の活動状況（座位、立位、歩行）、退院時のADL（Barthel Index）など

■ お問い合わせ

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。また、本研究の成果は学会等での公表を予定しておりますが、個別にご説明することも可能です。いずれも下記へお申し出下さい。

試料や情報が本研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

連絡先	済生会熊本病院 リハビリテーション部 係長 岡田 大輔（研究責任者） 住所：熊本市南区近見 5 丁目 3 番 1 号 電話：096-351-8000（代表）
------------	---

以上